

*Hommage  
à mon père*


# 倉田澄子 チェロ・リサイタル2013

ヴァイオリン 豊嶋泰嗣 ピアノ 野平一郎

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第5番 二長調 Op.102-No.2

チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲 イ短調 Op.50「偉大な芸術家の思い出」

2013年 4月 28日 (日) 13:30 開演 (13:00 開場)

 浜離宮朝日ホール

中央区築地 5-3-2 ☎03-5541-8710

都営地下鉄大江戸線「築地市場駅」A2出口すぐ 朝日新聞社新館2階  
※お車でお越しの場合、ホールに駐車場はございませんので近隣の有料駐車場をご利用下さい。

全席指定 5,000円 (税込み)

主催：朝日新聞社／(株)サウンド & ミュージック クリエーション

お問合せ・チケットのお申込み：(株)サウンド&ミュージック クリエーション ☎03-5797-5415

チケットのお申込み

●朝日ホール・チケットセンター ☎03-3267-9990

●東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650

写真 長岡 宏

## ～父・倉田高<sup>たかし</sup>に捧ぐ（生誕100年を記念して）～

フランスの名チェリスト、モーリス・マレシャルの愛弟子で、戦前に日本人として初めて国際コンクールで優勝し、パリでのリサイタルを成功させて帰国。日本でも活躍し、32歳の若さで惜しまれ他界しました父も、今年生誕100年を迎えます。

私はまだ2歳でしたので全く記憶はないのですが、小さい頃に聴いた古い SP レコードの父の音が深く私の心に染み入り、今もその音を探し続けています……。

今回は、野平さん、豊嶋さんという素晴らしいお二人に支えられ、このチャイコフスキーのトリオを父に捧げたいと思います。

倉田澄子



倉田澄子 チェロ Sumiko Kurata Cello

チェロを堤清氏（剛氏父上）より手ほどきを受け、齋藤秀雄氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科在学中、日本音楽コンクールに入賞。同大学在学中フランス政府給費生として渡仏。P. トルトウリエに師事。パリ国立高等音楽院のチェロ科と室内楽科を首席で卒業。

帰国後はリサイタルやN響、都響、読響、日フィル他と共演、テレビ、ラジオ出演を活発に行うかたわら、独・エッセン音楽大学のマスタークラスに籍を置き、フランス人の「クアチュオール・エリゼアン」のチェリストとして、ヨーロッパ各地への演奏旅行を重ねる。日中国交回復十周年記念に中国より招待され2年間にわたり瀋陽音楽学院における教授活動の他、各地で日本人の演奏家として初めて中国のオーケストラとドヴォルザーク、シューマンなどを共演。この後国内で、サイトウキネン・オーケストラのメンバーとして出演の他、リサイタル、室内楽、伯母の長岡輝子「宮沢賢治の世界」の共演など、演奏活動を続け、最近ではチェロコンGRES（2011. 2月、サントリーホール）でバッハの無伴奏を演奏。ロシア・サンクトペテルブルグで

行われた音楽祭やフランスのマスタークラスの講師に招かれる。

桐朋学園「第7回・生江賞」受賞。現在、桐朋学園大学教授として、毎年行われるマスタークラスの講師や、内外のコンクールの審査員を務めるなど後進の指導に力を注ぎ、レッスンビデオも多数。ドキュメンタリー映画「イーハトーブ幻想曲」に出演。演奏の他、ナレーターも務める（NHK）。CD：「フォーレ/チェロソナタ」「夢のあとに/倉田澄子チェロ愛奏曲集」「フランスへの想い」（以上全て fontec）

## 野平一郎 ピアノ

Ichiro Nodaira Piano

1953年生まれ。東京芸術大学、同大学院修士課程作曲科修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。作曲・ピアノ・指揮・プロデュース・教育など多方面にわたる活動を行う。ピアニストとしては内外のオーケストラにソリストとして出演する一方、多くの内外の名手たちと共演し、室内楽奏者としても活躍。古典から現代までレパートリーは幅広い。マヌリヤベンジャミン、松平頼則の作品を世界初演、またリゲティ、武満徹作品他の日本初演を行う。また東京シンフォニエッタの初代代表を務めた。

80曲以上に及ぶ作品の中にはフランス文化省、アンサンブル・コンタンポラン、IRCAM、ベルリン交響楽団、国立劇場その他からの委嘱作品がある。2002年に東京でエレキギター協奏曲（炎の弦）をステイーヴ・ヴァイのソロで、また2005年にはドイツでオペラ「マドルガーダ」をケント・ナガノ指揮で、2006年には東京でチェロとオーケストラのための「響きの連鎖」を初演。2012年6月パリでサクソフォンとコンピューターの作品を世界初演。

第13回中島健蔵賞（1995）、第44回尾高賞、芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞（1996）、第35回サントリー音楽賞（2004）、第55回芸術選奨文部大臣賞（2005）、今春、紫綬褒章受賞。現在、静岡音楽館 AOI 芸術監督、東京芸術大学作曲科教授。



## 豊嶋泰嗣 ヴァイオリン

Yasushi Toyoshima Violin

桐朋学園で江藤俊哉、アンジェラの両氏に師事。在学中よりヴァイオリン、ヴィオラ奏者としてソリスト、室内楽、コンサートマスターとして演奏活動を始める。

86年、大学卒業と同時に新日本フィルのコンサートマスターに就任。その後もサイトウ・キネン・オーケストラ等でコンサートマスターを務め、指揮者、オーケストラからの信頼も厚い。

ソリストとしては、88年のサントリーホールでリサイタルデビュー、その後ベルリン放響、バシユメット&モスクワソロイスツ、ロンドン・モーツァルト管弦楽団等、国内外のオーケストラとの共演。

室内楽奏者としては、ハレー・ストリング・クアルテットを結成し、00年までカザルスホールのレジデントクアルテットを務めた。現在アルティ弦楽四重奏団のメンバーとして活躍。スターン、ヨーヨー・マ、アルゲリッチ、ズッカーマン、マイスキー、ストルツマン等との共演を重ねている。

現在は新日本フィル ソロ・コンサートマスター、兵庫県立芸術文化センター管 コンサートマスター、九州交響楽団 桂冠コンサートマスター。

91年村松賞、第1回出光音楽賞、92年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。京都市立芸術大学准教授、桐朋学園大学および大学院講師。1719年製 アントニオ・ストラディバリウスを使用。

